士論文概要 修

Summary of Master's Thesis

Date of submission: 1/10/2019

専攻名(専門分野) Department	機械科学	氏 名 Name	鈴木 周哉	指 教 Advisor		大行	印 Seal
研究指導名 Research guidance	精密工学研究	学籍番号 Student ID number	CD 5117C053-1		) (I) <del>T</del>	711	
研究題目 Title	太陽電池パネル上に堆積した砂の静電クリーニング						

### 1. 研究背景

今日、太陽光発電は世界で最も普及している再生可能エネル ギーの一つとして地球上のみならず宇宙でも利用されている. 特に砂漠地帯では長い日照時間と広い設置面積が有利となるた め、大規模なメガソーラーの建設が中東諸国を始めとして各国 で進められている.しかし砂漠地帯では強い風により砂が舞い 上がり, Fig.1のようにソーラーパネルに降り積もることによっ て発電の効率が落ちてしまうことが指摘されている.現状では 人の手によって清掃するか、散水することで砂を除去している. そこで新たなクリーニング手段として自動静電クリーニングシ ステムを設計した.

### 2. 原 理

この装置は電極によってソーラーパネルを模したクリーニン グ装置(以下基板)上に電界を形成して、砂にクーロン力を発 生させることで砂を除去している. 電極の模式図を Fig.2 に, 砂 を載せた基板の状態を Fig.3 に示す.一方の電極を正極に、もう 一方の電極を負極にして電圧を印加させると、電界が正負交互 に形成され、正極から負極にかけてクーロン力が発生する. 基 板に散布された砂粒はこのクーロン力を受けて正極から負極, または負極から正極へと飛翔する. 電極に印加する電圧の極性 を周期的に入れ替えることで、砂を継続的に飛翔させて基板か ら砂を取り除くことができる.砂は中東諸国の一つであるカタ ール国で採取された砂を使用している. 粒径分布を Fig. 4 に示す.

## 3. 研究内容

### 3.1 性能評価

砂漠地帯のソーラーパネルに砂が降り注ぎ、表面に堆積した 状態を硝子板において擬似的に再現して実験を行った. 硝子板 に砂を一定量、均等に散布させた状態でクリーニング装置に電 圧を印加させ、一定時間作動させて性能を評価した. 除去され

ion

Particle



Fig. 1 Solar panel covered with desert sand (at Qatar)



Fig. 3 Sand-covered panel used for experiment



Fig. 2 Patterning of parallel comb-shaped electrode 0.25 Avg.27.82µm



た砂の量を散布した砂の量で除し、百分率で表した値をク IJ ニング効率と定義し、この値をもとに装置の性能を評価した. クリーニング装置に印加する電圧を1 kV から6 kV まで調整 してクリーニング効率の関係を調べた. Fig.5 ではクリーニング 装置の電極の形状を平行型と波型の2種類を用いて比較した. この実験から印加電圧とクリーニング効率は正の相関にあり、5 kV 程度で 80-90%のクリーニング効率を得られ、十分にソーラ ーパネルがクリーニングされることを確認した. 電極の形状は 波型のほうが高効率を得られたものの、十分にクリーニングさ れる5kV以上においては大きな差はない.波型電極は製作が難 しく、実用面においては平行型の方が優れている.

# 3.2 砂のセメント化による影響及びその対策

砂漠地帯でメガソーラーを運用している機関によれば,海岸 沿いなど比較的湿度が高い砂漠地帯では,堆積した砂が夜間帯 に露を帯び、硬化することがあると報告されている.以下この 現象をセメント化と称する. セメント化が発生した状態でのク リーニング効率を Fig. 6 に示した. これより, セメント化によ ってクリーニング効率が30-40%低下してしまうことがわかる. セメント化によって砂と基板の間に生じる付着力が大きくな り,飛翔力が小さくなってしまうことが考えられる. 基板の加 振とロールブラシを基板上で回転させる方法と 2 つの方法で セメント化対策を講じた. それぞれの結果を Fig. 7と Fig. 8 に示 した.

基板を加振ロールブラシによって表面を磨くことで物理的な 方法で砂を除去したとき、クリーニング効率は上昇し非セメン ト化状態近くまでクリーニング効率が回復した.加振とロール ブラシどちらの方法においても物理的手段によるクリーニング は有効であり、砂がセメント化状態にあっても非セメント化状 態と遜色ないクリーニング性能を発揮できるようになることを 確かめた.



Fig. 7 Vibration characteristic



Fig. 6 Cementation characteristic



Fig. 8 Cylinder brush characteristic